



学校便り

# 修学旅行

名護市立安和小学校  
令和元年度 学校便り 第15号  
2019年12月17日  
発行責任者 校長 宮城達也

## 6年生が修学旅行に行ってきました！

◎ 11月28日（木）～29日（金）の2日間の日程で、6年生が修学旅行に行ってきました。いつもより早く登校し出発式を済ませた一行が最初に向かったのは沖縄県立博物館・美術館です【写真①】。当初の計画では首里城の見学が予定されていましたが、10月31日の火災により予定を変更し、県立博物館で沖縄の歴史や自然・文化に関する自主学習に取り組みました。企画展として「グスク(城)展」が開催されており、首里城を始め沖縄の各所に残るグスクについて理解を深めることもできました。糸満市の沖縄県営平和祈念公園に移動し昼食のお弁当タイム【写真②】。公園内の遊具で思いっきり体を動かした後、平和祈念資料館【写真③】へ移動し、沖縄戦の悲惨な実相について学習を深めました。その後「平和の礎【写真④】」で安和小学区や親戚等、戦没者の名前が刻まれた石碑に手を合わせました。初日の最後は南城市の糸数壕〔アチカマ〕を訪れ、ガイドさんの説明を聞きながら【写真⑤】実際に入壕、暗闇の中で追体験を行い、戦争の恐怖や悲惨さを身をもって学びました。豊見城市の宿泊先のホテルグランビューガーデンに到着後、レク大会の始まりです【写真⑥】。自分たちで考えたいろいろなゲームやクイズ大会で大いに盛り上がりました。豪華な施設やおいしい夕食＆朝食buffetにも大感激です【写真⑦】。二日目の朝は夜明け前に全員揃って豊崎ビーチまでお散歩、ラジオ体操もするなど楽しく充実した宿泊体験となりました。ホテルを後に那覇空港へ向かい、展望ロビーから駐機場等を見学【写真⑧】した後、ゆいレール(モノレール)乗車体験です。始発の那覇空港駅から開通したばかりの終点てだこ浦西駅までの全区間を乗車体験することができました【写真⑨】。今回の修学旅行では校長の教え子が店長を務める城紅型工房【写真⑩】で、紅型染めを実体験し児童一人一人が自分オリジナルのコースターづくりを行いました【写真⑪】。染め付けしたコースターは一週間ほど乾燥させた後、のりを洗い流して完成です。どんな作品に仕上がったかな？那覇の県庁前まで戻り、今回の修学旅行の最後のプログラムは、子どもたちが最も楽しみにしていた国際通り散策(ショッピング)です。チェックポイントを確認しながら最終集合場所である蔡温スクエアまでの通りで、事前に調べておいた昼食場所や土産屋を探し、家族や在校生、自分へのお土産もゲットしていました【写真⑫】。帰路では予定にはありませんでしたが、嘉数高台公園へ寄り沖縄戦の激戦地であった場所の確認や、展望台から見渡す普天間基地(ヘリ基地)の現実を目の当たりにしました【写真⑬】。2日間の様々な非日常的な体験を通し、子どもたちは確かに成長しました。お世話になった方への挨拶、感想発表等でも、しっかりと自分の言葉で考えをまとめ受け答えできていたことは、たいへんすばらしく最上級生として頼もしく感じました。この経験を活かして、残り少ない小学校での生活を充実したものとし、同時に中学校への希望や、これからの生活そして将来の糧にしていってほしいものです。

